

# 競技実施要項

## 1. 競技規定

現行の公益財団法人日本バスケットボール協会規則に則る。ただし、一部は今大会の規定に従って実施とする。

## 2. 競技時間

・男子：総当たりリーグ戦 女子：総当たりリーグ戦

- ① 通常のルールで実施する。10分の4クォーターで実施し、タイムアウトは各チーム、1Qと2Qは2回、3Qと4Qは3回とする。各クォーターの間にインターバルは2分、ハーフタイムは10分とする。
- ② 4クォーターが終了した際、両チームの得点と同じだった場合は、2分のインターバル後、3分の延長で勝敗が決まるまで行う。ただし、体育館の使用時間に影響が生じる場合は、代表者3名によるフリースローで勝敗を決定

1Q	インターバル	2Q	ハーフタイム	3Q	インターバル	4Q
10分	2分	10分	10分	10分	2分	10分

※ハーフタイムの3分前までは次の試合のチームアップ時間とする。

## 3. 試合球

大会公式試合球と練習球は、モルテン社製ボールを使用する。

## 4. ユニフォームに関する規定

- (1) 組合せ表に向かって左側のチームが淡色（白色）、右側のチームが濃色を着用とする。
- (2) 番号は0番又は00番から99番まで使用できる。
- (3) 色、形とも統一されたユニフォームを着用すること。(ビブスは不可)
- (4) ユニフォームは濃・淡(白色が望ましい)の2着を必ず用意する。
- (5) アンダーウェアは、ユニフォームからはみ出さないこと。シャツからはみ出してしまう上半身用および腕用のサポータ用のもの(パワーサポータ、パワースリーブなど通常のサポータも含む)を着用してもいいが、出来れば、白・黒色の統一とする。
- (6) パンツの下にパンツより長いパンツ様のもの(アンダーガーマント、パワータイツなど)をはいても良いが、白・黒色の統一とする。
- (7) サポーター(下着と分離しているもの)は着用可能だが、繋がっている着衣(スパッツなど)は着用不可とする。

## 5. オンザコート1

- (1) 聴者の選手は、オンザコート1のルールで対応する。
- (2) 聴者の選手は、前面の見えるところにカラーテープを貼る。

## 6. 試合開始時刻について

- (1) 原則として組合せ表の時刻通りに開始する。
- (2) 前の試合が遅れた場合は、次の試合開始までに3分のインターバルをおく。
- (3) 試合開始時間の確認を十分に行い、前のゲームの最終クォーター1分前までには当該コートに待機する。

## 7. 没収について

試合開始時間に5名揃っていないチーム、また、各種事項や注意事項、主催者からの説明を守らない場合は、その選手が所属するチームの試合は没収とする。

## 8. その他

- (1) 大会にエントリーされた選手、スタッフ以外は、いかなる理由でもベンチに入ることはいできない。
- (2) 代表者会議後のエントリーの変更は、一切受け付けない。
- (3) 競技中は、人工内耳を含めて補聴器の着用は不可。試合前ベンチ入り、アップの時から適用し、発覚した場合はテクニカルファールとして、相手チームにフリースロー1本与える。
- (4) コートでアップする際は、可能な範囲でチームの服装の色を統一（または同色系）する。
- (5) タトゥーがある場合は、テーピング、サポーターなどで見えないようにする。

